21駒交換による自動作成（駒入れ）　駒を自由指定して配置編集　全体オプション　個別条件　一手戻し

21駒交換による作成（駒入れ）

「作成」（駒入れ）や「AI手直し」では、駒入れ条件（個別条件・全体オプション）を守って、授業をバランス良く配置します。21駒交換による深い読みと、関連駒の試行を行う広がりを持つ駒交換能力で、4展開までの選択授業の駒交換・振替も可能にしています。時間割完成後の調整にも大きな力を発揮します。

「作成」は、駒をまとめて動かす事ができるので、最初に配置の大きな枠組を作るのに向いています。「作成」は科目や授業の種類を指定して順に駒入れする事もできます。

自動作成中は、駒入れ状況をAI一覧表示や進行状況表示で表示し、ログメッセージやチェックメッセージでデータの誤りや注意点を表示します。

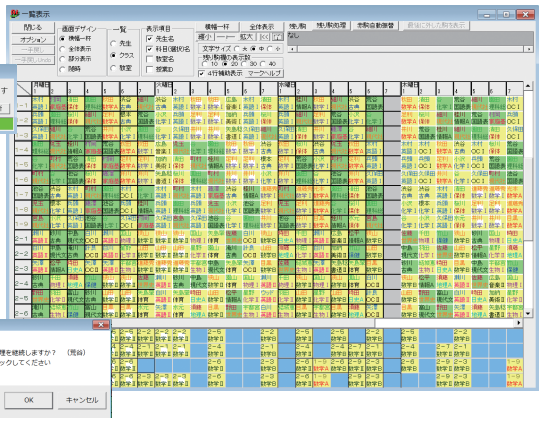
複雑で条件の厳しい時間割でも、「駒が入る」だけでなく、より学校の事情に合わせて作成する事が可能となってきています。

右図は、選択・展開授業時数（黄色の駒）が３分の２以上の併設校の駒入れ例です。

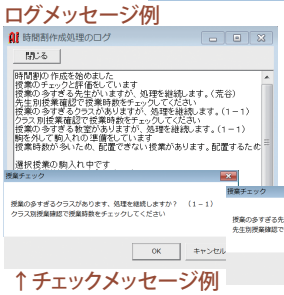
作成開始画面

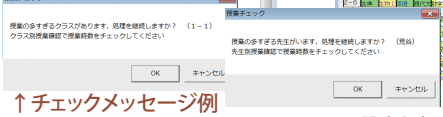
進行状況表示画面

AI一覧表示：　駒入れ完了



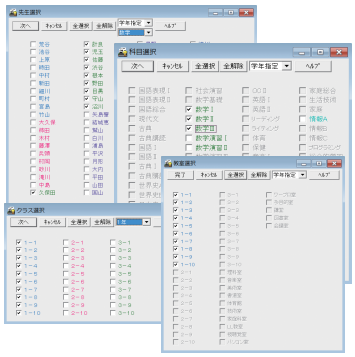
ログメッセージ例



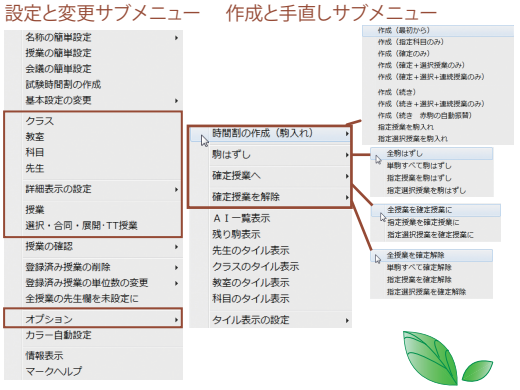


↑チェックメッセージ例

↓授業を指定して駒操作



設定と変更サブメニュー　作成と手直しサブメニュー



自由指定で駒操作　便利な一手戻し

作成では「駒入れ」「駒はずし」「駒の確定と解除」について駒の種類を選択して操作できます。

以下の条件で選択できます。

・駒全体
・駒の種類（単駒・選択駒など）を指定
・授業を指定（先生・科目・クラス・教室で選択）

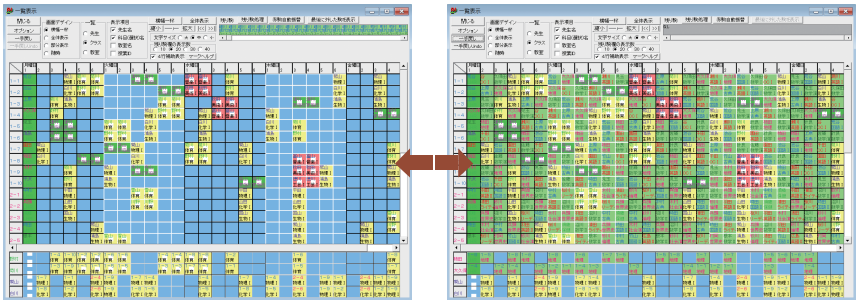
「駒入れ」に関しては、更に以下の操作も可能です。

・残った駒を続きで駒入れ
・赤駒（駒入れ後に条件を厳しく変更した駒）の自動振替

更に「一手戻し」や「一手戻しアンドゥ」の機能があります。この機能は１回の操作を１手と数える為、一度に多くの駒が動いても１手で戻したり、戻しを解除する事ができます。また、メモリの有る限り、何手でも手数を記憶します。

「単駒すべて駒はずし」では、１クリックで全ての単駒の配置をはずして選択授業と確定授業だけになるので、駒入れ後に選択授業などの配置を直したい場合に活用します。

「単駒全て駒はずし」⇄「一手戻し」⇄ 駒入れ完了データ



作成とAI手直しの連携で「作りたい時間割」に

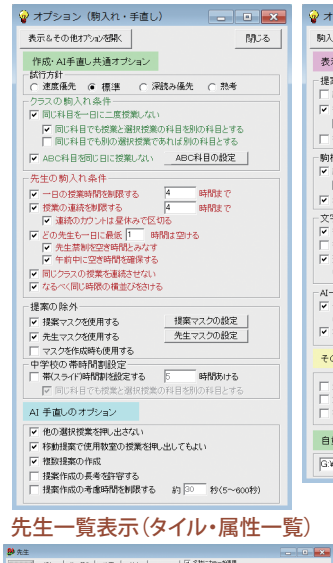
「作成」は、時間割の駒の配置を大きく動かすのに向いています。大まかに出来上がったらAI手直しも併用して調整してゆくと、厳しい条件でも「作りたい時間割」を作成する事が可能です。

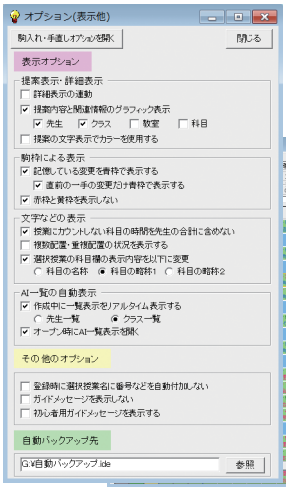
以下は時間割作成の手順の例です。

① 選択授業の入れにくい駒を指定して駒入れ
② 残りの選択授業を自動で駒入れ（「選択授業の続き」）
③ AI一覧表示で、選択駒の位置の調整
④ （基本）授業の入れにくい駒を指定して駒入れ
⑤ 残りの（基本）授業を自動で駒入れ（「作成の続き」）
⑥ 駒を自由指定して駒はずし・駒入れ
⑦ AI一覧表示（右頁参照）で最終的な調整

また、作成・調整時には全体・個別オプションを調整しながら行うことも、「作りたい時間割」を作成するポイントとなります。

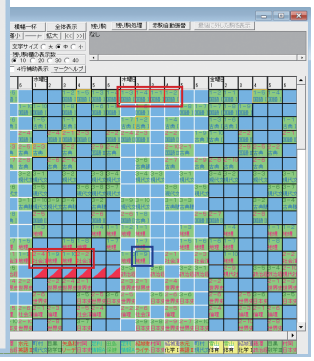
↓オプション設定：駒入れ・AI手直し　↓オプション設定：表示・その他





赤枠表示・青枠表示

AI一覧表示：先生



全体オプション：　駒入れ条件とAI手直し条件

時間割全体に関わる「オプション」条件は「作成・AI手直し共通オプション」「AI手直しのオプション」「表示オプション」「その他」です。オプションの詳細については、右図の画面を参照して下さい。

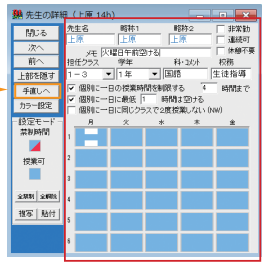
- 「作成・AI手直し共通オプション」→　作成（駒入れ）・AI手直し共通のオプションです。駒入れの試行方針や、クラス・先生に関する条件、提案から除外する条件などがあります。
- 「AI手直しのオプション」→　提案作成時の駒の動きについて指定します。押し出しを許容する条件や、試行のレベル、時間などの条件を設定します。
- 「表示オプション」→　AI手直しでの表示条件を指定します。連動して表示する画面の範囲や、「赤枠」（駒入れ後に条件を厳しく変更した為、厳守条件を満たさなくなった駒）・「黄枠」（同配慮条件を満たさなくなった駒）や「青枠」（オプション設定後の変更駒）の表示指定、その他があります。
- 「その他」→　ガイドメッセージその他について設定します。
- 「自動バックアップ先」→　自動バックアップ先のフォルダとファイル名を指定します。

先生一覧表示（タイル・属性一覧）

先生詳細画面(AI手直し)

1駒単位に駒操作可能
残り駒欄は拡大・縮小可能

先生詳細画面(条件設定)



先生個別の条件・属性

個別条件・オプション・授業との連携

先生・科目・教室毎に「個別に」駒入れ条件を設定することができます。１日の授業時数制限や使用教室、禁制時間の設定その他、多数の項目が有り、きめ細かに学校の事情に対応することができます。個別条件の詳細については２頁の個別条件設定を参照して下さい。個別条件は全体条件より優先されます。

条件の変更、授業や名称属性の変更は直ちに授業データや時間割データなど全データに反映され、条件の変更も「一手戻し」「一手戻しアンドゥ」で戻したり、戻しを解除する事ができます。一手戻しはメモリの限界まで記憶します。